

## 様式第2 補助事業計画書

研究開発題目	〇〇〇〇に関する研究開発				
申請企業名	〇〇株式会社 〇〇〇〇 TEL (028-623-3192) FAX (028-623-3945)	資本金 出資金	10,000千円	従業員	30人 (令和4年4月1日 時点)
研究開発の実施場所	(主) 栃木県〇〇市〇〇2-1-5 〇〇〇株式会社 〇〇工場 (副) 栃木県〇〇町〇〇町12-2 〇〇〇株式会社 〇〇工場				
主任研究者	開発課 主任 〇〇〇〇 TEL: 〇〇〇〇 E-mail: 〇〇〇〇				
他からの指導者 又は協力者	〇〇〇〇 (〇〇〇〇大学工学部〇〇〇〇工学科) 無償 〇〇〇〇 (〇〇〇〇〇株式会社 代表取締役) 有償				
共同研究者	〇〇〇株式会社 TEL (028-624-3333) FAX (028-624-3334)	資本金 出資金	250,000千円	従業員	300人
共同研究者の研究場所	(主) 栃木県〇〇市〇〇3-3-3 〇〇〇株式会社 〇〇工場 (副) 栃木県〇〇町〇〇〇22-1 〇〇〇株式会社 〇〇工場				
共同研究責任者	研究開発部 部長 〇〇〇〇				
研究開発の基礎となる 特許、研究成果等	〇〇〇〇の製造方法 (特許第〇〇〇〇号)				
研究開発の目的	近年、〇〇分野では、〇〇のために〇〇化が図られているが、その手段は 〇〇法が主流であり、〇〇が課題となっている。本研究では、〇〇を解決 するため、〇〇について評価検討し、量産化の技術を確立することを目 的としている。				
研究開発の 内容及び規模	申請者	〇〇として〇〇を使用し、〇〇を行う。 本計画では、次の項目について取り組み、量産化の技術を確立する。 1. 〇〇の試作 2. 〇〇から〇〇をライン化するための装置開発 3. 〇〇の試験 開発規模として、〇〇を試作し、実証テストを行う。それぞれの試作機は 、実規模の1/〇であり、プレス機については所有設備を使用する。			
	共同 研究者	現有設備を利用し、これまでの研究開発で得られた成果を実用に供する ため、〇〇により、〇〇を明らかにする。 1. 〇〇と〇〇の関係について 2. 〇〇の設定条件について 3. 〇〇の試験方法について			
成果の企業化 又は適用の効果	〇〇の多様化に伴い、〇〇〇〇のニーズが高まっており、今回の成果によ り〇〇の機能を生かしてさらに〇〇を高めた〇〇として活用でき、〇〇 〇分野への販路が拡大できる。企業化による〇年後の年間売上高は〇〇 億円を見込んでいる。				
補助金の交付を 受けた実績	平成〇〇年度〇〇〇〇補助金 (〇〇県) 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 令和2年度〇〇〇〇補助金 (〇〇市) 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
研究開発の日程	開始予定 令和4年 7月 〇日 完了予定 令和5年 2月 28日				
研究開発費	総額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円 [補助金交付申請額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円]				

(注) 共同研究者が、大学、公的試験研究機関の場合は、「資本金・出資金」「従業員」欄の記入は不要です。また、共同研究に係る経費を計上しない場合には、「共同研究者」「共同研究者の研究場所」「共同研究責任者」「研究開発の内容及び規模(共同研究者の項目)」欄の記入は不要です。